



川原ですい事をするときの、うまい火のもやし方を教えて

地面のかわいている場所を選ぶ

すい事をするときの、かまどを作る場所は、なるべく、水辺に近いところで、下のかわいている所を選びましょう。

よくかわいた木を用意する

たき火の材料にする木は、川原にある流木やかれえだなどの、よくかわいた物をさがして使いましょう。あまり太いものや、長いものより、手で折って使えるくらいの、太さのものが便利です。あとは、火をつけるためのマッチや、新聞紙などのもえやすい紙を、用意します。

かまどの火を燃やす

右のような手順で、かまどの火をもやします。

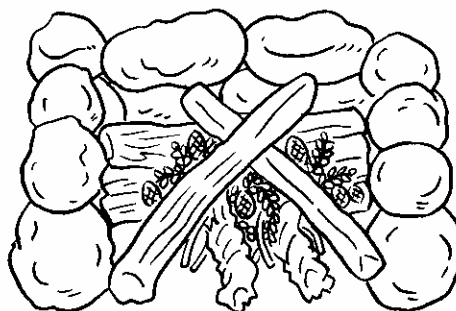
注意：火を使うのは、必ず、大人の人がいるときにする。また、風の強い日には、火をもやさないこと。安全のために、水を入れたバケツを、そばに用意しておくこと。

(監修・青木 国夫)

〔たき火のしかた〕



新聞紙など、もえやすい紙をまるめる



細い木から順に、紙にかぶせる

紙のいちばん下に、火をつける

